



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 コ ム チ ュ ア 株 式 会 社
東 京 都 品 川 区 大 崎 一 丁 目 11 番 2 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 亀 井 貴 裕
(コード番号：3844 プライム市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 (財 務 経 理 ・ IR 担 当) 稲 見 秀 之
T e l : 0 3 - 5 7 4 5 - 9 7 0 0

特別損失（減損損失）の計上および2027年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2027年3月期第1四半期連結累計期間に下記の通り特別損失を計上し、2026年5月15日に公表いたしました2027年3月期通期連結業績予想を修正することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社では、業務プロセスの改善および一部老朽化システムの刷新を行うため、新基幹システムの開発を進め、2026年4月に稼働を開始いたしました。その後、6月の新経営体制発足を契機として中期経営計画の策定を進める中、Data&AIを核としたビジネスモデル変革を加速するとともに、AIによる生産性の向上を推進するという観点から、既存の投資案件を含む経営資源の配分について、成長戦略との整合性および資本効率の観点から改めて検証いたしました。

その結果、新基幹システムについては、継続利用に伴う追加開発費用、運用・保守費用等の負担を抑制する一方、当該経営資源をAI活用環境の整備・研究開発、人材育成、働きやすいオフィス環境の整備等の重点領域へ再配分することが、より当社の企業価値向上に資するものと判断いたしました。このため、当該システムの一部について利用を停止し、既存システムの活用を含む運用へ移行することといたしました。

これに伴い、当該システムに係るソフトウェア資産の資産性を再検討した結果、2027年3月期第1四半期連結累計期間において、減損損失1,434百万円を特別損失に計上いたしました。

基幹システムの運用移行に伴う当社の事業活動および顧客向けサービスの提供に支障はありません。また、新基幹システムの導入を通じて改善を実施した会計ガバナンスおよび業務プロセスについても継承し、継続的な定着を図ってまいります。

なお、当該損失は主として会計上の減損処理によるものであり、キャッシュ・フローへの直接的な影響はありません。

2. 2027 年 3 月期の連結業績予想数値の修正（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 42,000	百万円 4,700	百万円 4,730	百万円 3,230	円 銭 101.27
今回修正予想（B）	42,000	4,700	4,730	2,250	70.55
増 減 額（B－A）	0	0	0	△980	
増 減 率（ % ）	0	0	0	△30.3%	
（参考）前期連結実績 （2026 年 3 月期）	38,109	4,660	4,711	3,284	103.00

3. 業績予想修正の理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、概ね計画どおりに推移しているものの、上記「1. 特別損失（減損損失）の計上について」に記載の通り、特別損失 1,434 百万円を計上することから、親会社株主に帰属する当期純利益は 2,250 百万円となる見込みです。

4. 2027 年 3 月期の配当予想について

配当予想につきましては、今回の業績修正に伴う変更はございません。

（注）本資料に記載されている業績予想数値等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいている物であり、実際の業績等は様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

以上